

ご参加要項			
参加費		第1部+第2部 通し	第1部のみ 又は 第2部のみ
	中産連会員	49,500円 ※2人目から半額(24,750円)とさせていただきます。	27,500円
	中産連会員外	55,000円 ※2人目から半額(27,500円)とさせていただきます。	30,800円
【第1部+第2部 通し 受講特典!!】 ※消費税込 ※2人目から“第1部+第2部 通し”受講の参加費を半額(中産連会員24,750円、中産連会員外27,500円)とさせていただきます。			
申込方法	①下記申込書に必要事項にご記入の上、切り取らずにFAXにてお送りください。受領後、受付確認の連絡を致します。 ※必ず参加者のメールアドレスをご記入ください。 中産連ホームページ(www.chusanren.or.jp)、または右記のQRコードからもお申込み頂けます。 申込みが完了しますと、申込責任者のメールアドレスに「申込完了メール」が届きます。 ②請求書は申込責任者宛へ郵送します。 フォーラム視聴用URLは、配信日前日までに「参加者のE-mailアドレス」へ送信致します。 ※コンサルタント及び教育機関の方のお申込みはお断りしております。ご了承ください。		
申込先	一般社団法人中部産業連盟 マネジメント事業部 安藤・江口・石原 〒461-8580 名古屋市東区白壁3-12-13 TEL:052-931-9826 FAX:0120-342-340		
振込先	お振込みは、開催日前日までに下記銀行口座へお願いいたします。 三菱UFJ銀行 名古屋営業部 当座No.420222 <口座名：一般社団法人中部産業連盟>		
ご参加に関する注意事項	1. フォーラムURLはご参加者本人のみ使用可能です。再交付、複数名で共有することはご遠慮ください。 2. オンライン配信動画の画面の撮影、録音、資料の複製等をご遠慮ください。 3. フォーラム参加に必要なインターネット回線、インターネット回線に接続できる端末(パソコン、タブレット、スマートフォン等)、参加者自身で準備及び設定願います。 4. ネット回線・システムトラブル等による視聴の遅延・中断等に関しては返金致しかねます。ご了承ください。		

中産連×愛知県 自動車産業フォーラム2022(オンライン) 参加申込書

年 月 日

会社名 _____

〒 _____

所在地 _____ TEL _____ FAX _____

※参加される回にシ点をかつください。 ※E-mail アドレスは必ずご記入ください。

参加希望される回	参加者 所属部課・役職名	参加者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス
<input type="checkbox"/> 第1部+第2部 <input type="checkbox"/> 第1部のみ <input type="checkbox"/> 第2部のみ			
<input type="checkbox"/> 第1部+第2部 <input type="checkbox"/> 第1部のみ <input type="checkbox"/> 第2部のみ			
<input type="checkbox"/> 第1部+第2部 <input type="checkbox"/> 第1部のみ <input type="checkbox"/> 第2部のみ			

申込責任者 所属部課・役職名	申込責任者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス

会社概要	業種(主要製品名)	資本金	従業員数
		百万円	人

今回ご記入いただく個人情報、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)においてのみ使用致します。
 詳細は当連盟HP(http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html)をご覧ください。同意のうえ、ご協力をお願い致します。関連情報が不要の場合には下記にシ点のご記入をお願い致します。 セミナーなどの関連情報の案内を希望しない

オンライン配信

大手自動車メーカー、自動車部品メーカーが語る

中産連 × 愛知県

自動車産業フォーラム2022

最新技術講座

オンライン配信期間

第1部：2022年2月24日(木) 13:00～3月10日(木) 13:00
 第2部：2022年3月17日(木) 13:00～3月31日(木) 13:00

※録画配信のため配信期間中であれば、お好みの時間に何度でもご視聴頂けます。

ご講演企業

協賛：公益社団法人 自動車技術会、一般社団法人 日本自動車部品工業会 中日本支部
 一般社団法人 愛知県溶接協会、中部経済新聞社

講座のポイント

「自動車産業は今後、どのような方向に進むのか？」 「これから、どのような分野の技術開発やビジネスに力を入れるべきか？」

100年に一度とも言われる大変革期において、自動車産業は世界的にも力強い成長を遂げてきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により大きな打撃を受け、自動車産業を取り巻く環境は大きく変化しました。この前代未聞の局面の中で生き残るためには、自動車の技術が次にどこに向かっていくのかを常に考え、新たな視点から物事を捉える柔軟性が必要になります。

本講座では、日本を代表する自動車メーカー・部品メーカー（トヨタ自動車、本田技術研究所、日産自動車、マツダ、三菱自動車工業、デンソー、SUBARU、島津製作所、大同特殊鋼）の技術開発の第一線で活躍するエキスパートが、各分野において次世代自動車の最新技術や今後の動向を解説いたします。また、森・濱田松本法律事務所には自動運転技術の未来についてお話しいただきます。

自動車の明日の技術開発やビジネスチャンスを探っていただくため自動車産業に携わる皆様の一助となれば幸いです。企業の経営者、技術者、管理者の方々の積極的なご参加をお待ちいたしております。

『中産連×愛知県 自動車産業フォーラム2022 最新技術講座』

講演時間	【第1部】配信期間 2022年2月24日(木)～3月10日(木)
講演 約5分	フォーラム開催挨拶 ◆公益社団法人 自動車技術会 技術中核人材育成委員会副委員長 嶋田 幸夫 氏
講演 約50分	『自動運転・新しいモビリティ・MaaSの法制度の最新動向』 ◆森・濱田松本法律事務所 パートナー 戸嶋 浩二 氏 (経済産業省IoTやAIが可能とする新しいモビリティサービスに関する研究会)委員) 佐藤 典仁 氏 (元国土交通省自動車局 企画調整官) 現在、レベル4無人自動運転移動サービス実現のための道路交通法改正について検討が進められています。また、自動配送ロボットや電動キックボード等の新しいモビリティに関する交通ルールの見直しも行われています。さらに、MaaS分野でも、タクシー規制の見直しなど制度改正に向けた議論が活発に進んでいます。これらの法制度の最新動向について、モビリティ分野の豊富な知見を有する森・濱田松本法律事務所の戸嶋浩二弁護士と佐藤典仁弁護士(元国土交通省自動車局 企画調整官)が分かりやすく解説します。
講演 約50分	『モビリティの電動化へ向けた日産自動車の取り組み』 ◆日産自動車株式会社 総合研究所 EVシステム研究所 技術参与 松本 幹雄 氏 モビリティにおけるカーボンニュートラルの実現に対して、電動化はその筆頭的手段とも言えます。日産は電気自動車のパイオニアとして、車載バッテリーの蓄電池としての活用や、二次利用など、これまで様々な取り組みを行ってきました。本講演では、モビリティの電動化へ向けた日産の取り組みと、それらが、お客さまや社会に提供する価値、さらに今後の展望について述べます。
講演 約50分	『島津製作所が提案!次世代モビリティ開発における課題解決事例』 ◆株式会社島津製作所 分析計測事業部 試験機ビジネスユニット ビジネスユニット長 川崎 健史 氏 カーボンニュートラル実現に向けた次世代電動化モビリティ開発が進められています。自動車の電動化における高航続化・高速化・高トルク化・モジュール化、軽量化といった様々なテーマの開発では材料、部品の評価が重要です。本講演では電池・e-Axle・軽量化をキーワードに関連する部材の評価解析技術をご紹介します。
講演 約50分	『三菱自動車らしさの実現に向けて PHEVとアライアンスプラットフォーム技術の融合 ~新型アウトランダー開発より~』 ◆三菱自動車工業株式会社 製品開発本部 セグメントチーフピークルエンジニア 本多 謙太郎 氏 商品コンセプトの「威風堂々」「力強さ」「頼もしさ」「上質感」「力強く滑らかな加速」の4つの要素から具現化。「新開発のアライアンスプラットフォーム」と「パジェロやランエボで進化してきた4WD技術およびMMC 独自の PHEV 技術」を融合したことで「三菱らしさ」を一層強化し、ひとクラス上のSUVと進化した新型アウトランダーをご紹介します。
講演 約50分	『2035年 工場におけるカーボンニュートラルに向けたチャレンジ』 ◆トヨタ自動車株式会社 プラント・環境生技部 部長 山田 裕一 氏 気候変動問題への対応としてグローバルトヨタで進める工場でのCO2排出量低減活動として、生産性を飛躍的に高めるものづくりの「革新技術」や工場での地道な「日常改善」による省エネ活動と共に、「電力の再エネ・水素利用」などによる2035年のカーボンニュートラル達成や2050年工場CO2ゼロに向けたチャレンジをご紹介します。

コーディネータ



嶋田 幸夫 氏
公益社団法人自動車技術会 技術中核人材育成委員会 副委員長
(元日産自動車株式会社 常務取締役)

42年間、日産自動車(株)及びカルソニックカンセイ(株)にて、自動車の商品企画・開発、自動車部品の開発・実験、品質管理、原価管理、デザイン関連部門を役員を含めて歴任し、自動車全般に関する知識、動向に精通。

現在は公益社団法人自動車技術会技術中核副委員長として、自動車産業に関連する最新技術の動向の普及や人材育成に携わる等、多部門で活躍中。

受講対象者

- ・自動車産業に携わる企業の経営者、技術担当役員、管理職の方
- ・今後、自動車産業への参入を検討している企業の方

講演時間	【第2部】配信期間 2022年3月17日(木)～3月31日(木)
講演 約50分	『～メーカーの垣根を超えた 日本の自動車産業の国際競争力向上のために～ 「MBD(モデルベース開発)推進センター」によるモデル流通への取り組み』 ◆マツダ株式会社 統合制御システム開発本部 首席研究員 足立 智彦 氏 自動車産業に突き付けられた100年に一度の大変革時代、如何にスリムかつイノベティブな開発が出来るようになるかが求められています。その処方箋として、MAZDAはMBDを車開発全体へ適用してきており、経産省が提唱するSURIAWASE2.0を目指しています。MAZDAでの生き残りを掛けた価値創造と、支えるMBD取り組み状況を紹介し、併せてSURIAWASE2.0実現に必須のモデル流通を推進する団体として立ち上がったMBD推進センターやそのエコシステムとしてのAICE/TRMIでの活動を紹介いたします。
講演 約50分	『新型レヴォーグに搭載した新世代アイサイトのご紹介』 ◆株式会社SUBARU 技術本部 ADAS開発部 部長 柴田 英司 氏 主査 丸山 匡 氏 株式会社SUBARUは、2020年11月に独自の運転支援システムを全面刷新した新世代アイサイトを搭載した新型レヴォーグを発売しました。本講演では、弊社の運転支援システム開発の歴史から、車両の安全コンセプト、新世代アイサイト・アイサイトXの特徴、機能の紹介をします。※2021年7月7日に公益財団法人自動車技術会での講演と同様の内容です。
講演 約50分	『デンソーが考えるカーボンニュートラルと、モノづくり・モビリティ製品・エネルギー利用領域における挑戦』 ◆株式会社デンソー 技術企画部技術企画1室 担当次長 小早川 明 氏 自動車産業は勿論のこと、あらゆる企業の存続意義を、まさに問い直している社会課題が、地球温暖化・気候変動です。世界は「低」炭素から「脱」炭素へ一気に動き出しています。その中で、カーボンニュートラルに答えることが、私たち企業のサステナブルな存続と成長の条件になると考えています。デンソーが挑む「モノづくり」「モビリティ製品」「エネルギー利用」領域での取り組みをご紹介します。
講演 約50分	『グリーン社会実現に向けた大同特殊鋼の電動化への取組み』 ◆大同特殊鋼株式会社 技術開発研究所 所長 松村 康志 氏 2050年のカーボンニュートラル実現に向け、社会の潮流が大きく変わろうとしています。大同特殊鋼では、高性能材料を極めることにより新しい社会ニーズに応えることで、グリーン社会の実現への貢献を目指しています。本講演では、グリーン社会実現に向けた電動化への取組み事例として、モータ用磁性材料やバッテリー用機能材料について紹介いたします。
講演 約50分	『事故ゼロ社会の実現を目指して - Honda自動運転技術の取り組み -』 ◆株式会社本田技術研究所 先進技術研究所 エグゼクティブチーフエンジニア 杉本 洋一 氏 Hondaは自動運転技術の進化によって『すべての人に交通事故ゼロと自由な移動の喜びを提供する』ことを目指しています。本講演では、2020年に世界で初めて型式指定を取得した自動運転レベル3について、システムの機能と主要構成技術、実用化に当たっての課題について解説します。さらに、今後の自動運転と運転支援技術の進化に向けた、危険に近づかない予知予測と互いに分かり合える協調行動を実現する協調人工知能技術の取り組みについて紹介いたします。

※各単元「講演約50分」を予定しております。※やむを得ぬ諸事情により、変更する場合があります。